



大上地区社協の最近の活動 その1

2月21日(火) 北の台小・3年生が火曜喫茶店を見学

深谷大上ふれあいの家の火曜喫茶店で開催された「昭和展」に北の台小学校3年生の3クラス全員100人の児童が午前と午後、先生に引率されてクラスごとに見学に来館。

店長の岩月理事から昭和の展示品の昭和初期の教科書、カメラ類、映画のフィルムなどの説明を受けた後、一般の見学者と共に、熱心に見入っていました。3年生の見学は地域学習の一環として行われたものです。



岩月理事の説明を受ける3年生

2月27日(月)・28日(火) 中学生の「朝の声かけ運動」に参加

北の台中学校PTAの校外指導委員会が主催して、例年この時期に行なう「朝の声かけ運動」に大上地区社協は、今回も協力しました。

2月27日(月)と28日(火)の両日、朝8時から30分間、PTAの役員と共に大上地区社協の市ノ澤会長以下役員6名が参加。校門を始め、主要4力所で登校する生徒に“おはようございます”と声をかけると、生徒からも元気なあいさつが返ってきました。



登校する生徒に声をかける

3月2日(金) 北の台小・3年生が「におい卵」作りに挑戦

北の台小学校3年生全員の3つのクラスの児童は、3月2日(金)の午前10時30分からの午前中、大上地区社協が協力した“におい卵”作りに挑戦しました。

当日は、児童が自宅からカラの卵2個と折り紙、糊を持参し、クラスごとに先生の指導と、大上地区社協の市ノ澤会長、木村副会長など8名がアシスタントになって“におい卵”を作り、お互いに出来栄を楽しんでいました。

今回も、3年生が地域を知ろうという、地域学習の一環として取り入れたもので、今までに「絵手紙」作り、「折り紙」作りを体験しています。



「におい卵」作りに挑戦